

田辺かずき

【福岡県議会議員】



「質問力」

< 田辺かずきの質問実績（2011年～13年） >

質問議会	内容	分野	質問議会	内容	分野
2011年6月	大規模災害時の広域避難・集団避難の体制整備	防災・減災	2012年12月	災害時要援護者避難支援の個別計画策定促進	防災・減災
同	首都機能移転論と道州制	総合政策	2013年2月	農商工連携・6次産業化による農業振興	農業・園芸振興
予算特別委	「家電の無料回収所」対策	廃棄物対策	同	福岡県の観光戦略	観光振興
同	若年層の就業、所得対策	労働政策	予算特別委	地域における在宅医療体制の整備	医療・介護
同	「古賀警察署」の新規設置	警察・治安	同	男女がともに能力を発揮できる社会づくり	男女共同参画
同	国際戦略総合特区の展望と課題	経済・商工政策	同	応急仮設住宅の指針の策定状況	防災・減災
2011年9月	地域共生型介護の普及（宅老所支援）	医療・介護、高齢者支援	2013年6月	地域防災体制の強化（帰宅困難者、南海トラフ等）	防災・減災
同	実効性ある防災教育	防災・減災	同	地球温暖化対策推進の次期計画	環境保全
2011年12月	生活保障のあり方と障がいの早期発見	保護・援護、障がい者福祉	2013年9月	子どもの遊びの実態とその改善策	青少年健全育成
同	ミカン農家の現状と果樹振興策	農業・園芸振興	同	子ども会育成会と青少年アンビシャス運動の活性化	青少年健全育成
2012年2月	応急仮設住宅の指針（ガイドライン）策定	防災・減災	同	学校と家庭、地域の連携による子どもの体力向上	義務教育、社会教育
同	宅老所支援費	医療・介護、高齢者支援	決算特別委	原子力災害時の広域避難の受け入れ体制	防災・減災
予算特別委	住民の防災意識向上策と防災教育の所管	防災・減災	同	食育の推進と果産農産物の消費拡大	食の安全・地産地消
同	買物難民（買物弱者）対策	高齢者支援	同	少子化対策のあり方（出会い応援事業の批判・検証）	子育て支援
同	中小企業のアジア展開支援	中小企業振興	同	主要地方道・筑紫野古賀線の整備促進	道路建設
2012年6月	新たな教育施策と家庭、地域の教育力向上	義務教育、社会教育	同	子どもの体力向上策（スポコン広場の検証）	義務教育
2012年9月	子どもの「ネット依存」対策	青少年健全育成	2013年12月	地域公共交通の将来像（デマンド型交通の導入促進）	広域地域振興・交通政策
同	「貧困の連鎖」を防ぐ支援強化策	保護・援護	同	文化財行政における市町村支援（船原古墳）	文化財保護

2011.4.30 →>>>

>>> 11回連続 36テーマ

（一般質問・予算特別委・決算特別委の合計）

「提案」



“田辺かずき後援会 入会促進のお願い”

田辺かずき県議の1期目の任期は残り1年となりました。これまで後援会では、田辺県議の議会活動、地元活動を一生懸命に支えてきましたが、これをいっそう充実させたいと思います。つきましては、さらなる支援の輪を広げるため、皆様のお力をいただきたく思います。ぜひとも、周りの方に積極的にお声掛けいただき、後援会員の増加にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。ご紹介いただける場合の氏名・住所などのご連絡は、後援会事務所まで。

（TEL092-692-8510、FAX092-410-7730、challenge@tanabe-kazuki.jp）



対話する

政治の原点は、そこに生きる人との「対話」だと考えます。さまざまな現場で多くの人の「声」を聞き、社会の課題を把握し、解決につなげる。政治家の仕事の根っこは、新聞記者の仕事と同じです。政治家として、この信念を大切に活動を続けています。

延べ 49カ所 + α で開催



古賀市内全域の公民館・集会所を回り、県政報告と意見交換を行う対話集会。2013年までに延べ49カ所で開催しました。集会では多くの地域課題をいただき、活動に生かしています。また、把握できた地域行事は全力で回っています。これに加え、さまざまな団体さんの会合、サークル活動、お茶会などにもお招きいただき、県政報告をしています。ぜひお声掛けください。



【提案が「暮らし」に生きるということ】

県議会と知事・行政は、県政を動かす「車の両輪」です（＝二元代表制）。県議は、住民の皆さんの「暮らしの現場」の課題について、知事・行政が気づいていないことを指摘して課題の解決を促すために、本会議や委員会の場で質問・提案をします。知事・行政が既に取り組んでいる解決策が適切なのか、十分なのかをチェックする役割もあります。

私は就任以来、全ての定例会の本会議で一般質問を行ってきた数少ない県議の一人です。質問は、地元・古賀市をはじめ県民の皆さんとの「対話」で分かった課題を踏まえた内容になるよう強く意識してきました。その結果、少なからず県政の前進につながっています。

例えば、地域の中で在宅介護をサポートする「宅老所」の支援策は、私の提起がきっかけとなり、県の取り組みがゼロの状態から、新たな政策が生まれることになりました。特に注力してきた地域防災の強化については、自主防災組織の設立促進、災害時要援護者避難支援体制の確立、原子力防災体制の整備など多岐にわたる分野で幾度となく指摘してきました。古賀市では2012年度から

2013年度にかけて、県の防災モデル事業が多く取り組まれ、安全・安心な地域づくりにつながっています。ほかにも、筑紫野古賀線をはじめ市内の道路建設、河川整備、子育て支援、教育現場における家庭・地域・学校が連携など、私が約3年間で提起したテーマは県のほぼ全ての部局にまたがります。

医療・介護の体制強化も図っています。県は、古賀市が誇る福岡東医療センターを地域の拠点病院と位置づけて整備を進めています。災害拠点病院としての耐震化、感染症指定医療機関としての施設設備が進められ、患者情報の電子ネットワーク化にも取り組んでいます。また、救命救急センターとしての指定も行われます。

「県政は見えにくい」と言われてきました。新聞やテレビで毎日報道される国政、目の前の生活に関わることの多い市政と比べる。このため、約3年間、私自身の「質問」と「発信」によって具体的に県政の取り組みを「見える化」しようと努めてきました。引き続き、「身近な県政」を目指していきます。

発信する

ブログ更新 約 800

政治を身近に感じてもらうためには、政治家からの「発信」が不可欠です。1~2カ月に1回のペースで県政報告を発行し、郵送や新聞折り込みを実施。さらに、朝の古賀駅、千鳥駅、ししぶ駅に立ち、配布しています。日々の政治活動の詳細は、インターネットの公式HPやブログ（活動日記）、Facebook、Twitterを使い、連日報告しています。ブログは県議就任後、約800回更新しています。



田辺の政治活動を連日発信しています！

田辺かずき で 検索

ブログ（政治活動日記） <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
 公式ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
 facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
 Twitter アカウント → @tanabe_kazuki